

1. 平成30年学習指導要領の主な改訂のポイント

- 小・中・高等学校の系統性を踏まえ、「家庭基礎」、「家庭総合」とともに、内容構成をA「家族・家庭及び福祉」、B「衣食住」、C「消費生活・環境」に、D「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」を加えた4つに整理
- 少子高齢化等の社会の変化や持続可能な社会の構築、食育の推進等に対応し、生涯を見通した生活設計、乳幼児や高齢者をはじめ地域社会の人々との関わり、衣食住に関わる生活文化の継承・創造、契約の重要性や消費者保護に関する内容を充実
- 生活課題を解決する力、地域社会に参画し、家庭や地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を育成する指導を充実

2. 学習指導要領実施状況調査から明らかとなった成果と課題

- 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を解決するために必要な「**思考力、判断力、表現力等**」の育成に関して、**具体的な課題に対して主体的に考え、工夫すること**については相当数の生徒ができている。
- 生活を主体的に営むために必要な基礎的な「**知識及び技能**」の習得については、契約の重要性に関し、**未成年と成年の法律上の責任の違いやそれに伴う権利や義務について、学習内容の本質を深く理解すること**に、課題があると考えられる。

3. 2の成果と課題を踏まえた改善の方向性

- 指導上の改善点
 - ・ 多様な他者と協働し、実践的・体験的な学習活動を通して生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識及び技能を身に付け、それらを活用し、よりよい生活を営むことができるよう、指導の工夫を図る必要がある。
 - ・ 持続可能な社会の構築に向けて、家庭のみならず、地域及び社会における生活の中から問題を見いだして、設定した課題解決に向けて問題解決的な学習のさらなる充実を図る必要がある。

4. 調査問題例（ペーパーテスト調査）

「家庭や地域及び社会における生活の中から課題を解決するために必要な『思考力、判断力、表現力等』の育成」の問題例（別紙1参照）

- 親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境や子育て支援について理解した上で、子供の健やかな発達に向けて工夫しているかを問う問題を出題。

子供を取り巻く環境や共働き家庭の状況などを踏まえ、子育て支援としての保育所などの集団保育のよい影響について考え、記述する。

【通過率 86.4%】

「生活を主体的に営むために必要な基礎的な『知識及び技能』の習得」の問題例（別紙2参照）

- 消費行動における意思決定や契約の重要性、未成年と成年の法律上の責任の違いについての基本的な知識について理解しているかを問う問題を出題。

未成年と成年が同様の契約をし、その後に解約をしようとした場合の、権利と責任の違いについて、法律上の責任の違い（未成年者取消権の有無）を踏まえて記述する。

【通過率 31.3%】

「家庭や地域及び社会における生活の中から課題を解決するために必要な『思考力、判断力、表現力等』の育成」の問題例

家庭基礎 第2学年 集団保育の役割に関する問題

- 親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境や子育て支援について理解した上で、子供の健やかな発達に向けて工夫しているかを問う問題。
- ・保育所などの集団保育のよい影響を考えることを通して、子供の成長や発達に及ぼす環境の役割を理解し、家庭生活や地域社会の在り方を主体的に考察できる力を問う問題として出題した。

3 乳幼児について、次の(1)から(4)の問題に答えなさい。

- (3) 高校生のAさんは、家庭基礎の授業で以下の事柄について討論することになりました。保育所などの集団保育が子供に与えるよい影響について、どのようにアドバイスしますか、具体的に1つ答えなさい。(7)

ある夫婦が共働きで、日中に乳幼児の子供を保育できないため子供を保育所に預けるかどうかを検討しています。保育所などの集団保育が、子供に与えるよい影響について、どのようなものがあるのか。

【正答例】

仲間の存在により社会性（協調性、共感性、コミュニケーション能力など）が身に付く。

【通過率 86.4%】

「生活を主体的に営むために必要な基礎的な『知識及び技能』の習得」の問題例

家庭基礎 第2学年 消費行動における意思決定や契約の重要性に関する問題

○消費行動における意思決定や契約の重要性、未成年と成年の法律上の責任の違いについての基礎的な知識について理解しているかを問う問題。

- ・未成年と成年が同様の契約をし、その後に解約をしようとした場合の、権利と責任の違いについて、法律上の責任の違い（未成年者取消権の有無）を踏まえて記述する問題として出題した。

14 Aさん（高校生、17歳）の家族は、父（48歳）と、母（46歳）、姉（大学生、19歳）の計4人家族です。次の(1)から(5)の問題に答えなさい。

(4) Aさんと姉は、親に伝えずにそれぞれのレベルに合わせた英会話教材の購入の契約をしました。契約から2週間経ったころ、教材のレベルが合わなかったので2人は契約の取消をしたいと業者に伝えたところ、Aさんだけが契約の取消をすることができました。Aさんが契約を取り消すことができた理由を答えなさい。（40

【正答例】

1 7歳のAさんはまだ未成年で、未成年者取消権を使うことができたから。

【通過率 31.3%】